

令和7年度 平田野中学校区合同学校運営協議会 議事録

令和7年11月18日（火）

被服室 13:30

1 授業参観（各教室）

平田野中学校各学年の5限目の授業を参観

2 講演「今求められる力～個別最適と協働的な学び～について」

講師 鈴木 一将 先生（教育指導課）

別添資料参考

3 グループ交流

参加者を5つのグループに分けて、授業参観のようすや講演内容について、意見交換及び情報交換を行った。

＜主な内容＞

- 教育における学習方法の変遷について、特に ICT の活用と、生徒と教師の対話を通じた共同的な学びが重要であること。
- アナログ世代とデジタルネイティブな子どもたちの学習体験の違いや、問題解決における多様な視点の引き出し方について意見を交換
- 子どもたちがスマートフォンに長時間費やすことによる読解力の低下といった課題があること。
- 会話を通じて学び、お互いに情報交換ができる令和時代の新しい授業スタイルを肯定的に評価しており、これがコミュニケーション能力の向上に役立つこと。
- 未来へ向けての大きな課題として、孤立した人々や教育に関心のない人々を、どのように全体的な学習の枠組みに組み込んでいくかが課題であること。
- 各教室に掲げられている授業の「めあて」が抽象的すぎるので、自己評価がしやすいよう具体的なキーワードを設定するほうがいいのではないか。

4 教育支援課から

- 参加者がグループで和やかに意見交換できていた。
- 各小中学校で具体的な話し合いを通じて、児童・生徒の能力育成につなげる必要がある。
- 非認知能力やコミュニケーションの重要性を認め、学校、家庭、地域が連携してこれらの能力を育むこと、そして最終的に、運営協議会でのさらなる議論を通じて、具体的な実践方法を見つけることを期待したい。